



神の湯階下



営業	6～23時
札止	22時30分
利用時間	60分
大人	700円
小人	350円

石造りの浴室に砥部焼の陶板壁画が飾られ、「湯釜」と呼ばれる湯口が鎮座する浴槽は、道後温泉本館の独特な雰囲気を作り出しています。

内容 神の湯

※ボディソープ / シャンプー / コンディショナー / ドライヤー完備

神の湯二階席

営業	6～22時
札止	21時
利用時間	60分
大人	1,300円
小人	650円

※定員:70名



開放感がある55畳の大広間。夏季は障子を外してすだれが掛けられ、さらに開放的な気分を味わえます。

内容 神の湯 貸浴衣 お茶 お茶菓子

又新殿



営業	9～17時
所要時間	15分程度
大人	500円
小人	250円
※事前予約制	
※定員:10名	

明治32年(1899)に完成した皇室専用浴室。玉座の間、御居間、御湯殿など、豪華絢爛な空間が広がります。

霊の湯



男子浴室



女子浴室

皇室の随伴者用の浴室にあてられたといわれる男子浴室は、大理石や庵治石、大島石といった高級石材を使用した豪華な造りになっています。

※ボディソープ / シャンプー / コンディショナー / ドライヤー完備

※霊の湯は、霊の湯二階席・三階個室・三階貸切室の利用者のみ入浴いただけます。

霊の湯二階席



営業	6～22時
札止	21時
利用時間	60分
大人	2,000円
小人	1,000円

※定員:20名

大正時代に建てられた南棟にある休憩室。歴史ある建物の中にモダンな雰囲気が感じられます。

内容 神の湯 霊の湯 又新殿自由観覧 貸タオル 貸バスタオル 貸浴衣 お茶 お茶菓子

霊の湯三階個室



営業	6～22時
札止	20時30分
利用時間	90分
大人	2,500円
小人	1,250円
※全8部屋	

かつて「上等」と呼ばれ、小説「坊っちゃん」の一節にも出てきます。お風呂上りに個室でゆっくりとくつろげます。

内容 神の湯 霊の湯 又新殿自由観覧 貸タオル 貸バスタオル 貸浴衣 お茶 お茶菓子

霊の湯三階貸切室

飛翔の間



営業	8時、11時、14時、17時、20時、5組限定
利用時間	90分
1室利用料金	3,000円
大人	1,300円
小人	650円

※事前予約制
※定員:10名



しらさぎの間



営業	6時30分、9時30分、12時30分、15時30分、18時30分、5組限定
利用時間	90分
1室利用料金	6,000円
大人	1,300円
小人	650円

※事前予約制 ※定員:18名

全館営業再開で、新しく2部屋を休憩室としてお客様に開放しています。

※三階貸切室は、1室利用料金に加えてご利用人数分の料金が必要です。

内容 神の湯 霊の湯 又新殿自由観覧 貸タオル 貸バスタオル 貸浴衣 お茶 お茶菓子

坊っちゃんの間



道後温泉本館改築後の明治28年(1895)に松山に赴任した夏目漱石がその年の10月、正岡子規と利用したといわれる個室(霊の湯三階個室の北西の角部屋)で昭和41年(1966)に、夏目漱石の娘婿である文人・松岡譲氏が「坊っちゃんの間」と命名しました。文豪・夏目漱石が通った頃の面影を今でも味わえます。

語り継がれる歴史・伝説



白鷺の伝説

「伝云、古此湯少し湧出したり、鷺の足かたはなるが、常々来りて足を浸す、幾程となく平癒したり、故に此所を鷺谷と云」郷土地誌「予陽郡郷俚診集」には、道後温泉は白鷺により発見せられ、人々がその霊験を知って入浴するようになったと伝わります。



熟田津の歌

「熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今はこぎいでな」は斉明天皇率いる船団が出港するにあたり、額田王が作った歌といわれています。



玉の石

伊予国風土記逸文には、大国主命が重病の少彦名命を掌にのせて道後の湯であたためたところ、たちまち元気になり石の上で踊ったと記されています。



一遍上人と湯釜

道後の宝蔵寺に生まれた時宗の開祖である一遍上人は、正応1年(1288)、河野通有の依頼で、湯釜の宝珠に「南無阿弥陀仏」の六字の名号を書いたと伝えられています。



聖徳太子と湯の岡の碑文

法興6年(596)、道後に訪れた聖徳太子は明媚な風光と良質の温泉を推賞せられ、湯の岡に温泉の碑を建立されたと伝わります。

道後温泉本館 館内図

